

農業を体験

～相模女子大学の学生来訪～



▲フォトブックを手渡す相模女子大の皆さん

8月22日から9月16日まで相模女子大学の学生18名が本宮市を訪れました。これは地域活性化のため地域協働活動事業の一環として、農家民泊をしながら様々な体験活動を行ったものです。また、8月24日には学生5人が市役所を訪れ、高松市長に手作りのフォトブックを手渡しました。中には農業体験時の写真や手書きのメッセージが綴られ、市長のほか、農業体験の協力農家の方へも手渡されました。



◀贈られたフォトブック
～学校での企画で、本宮に行き豊かな自然・心優しい方々とのふれあいがあり、私は本宮がとても大好きになりました。また、絶対に遊びに行きます～
フォトブックメッセージより



カメラ散歩

まちの
ホットな話題

秘書広報課広報広聴係
☎33-1111 (内線 224)

カメラ散歩では、皆さんの「ホットで楽しい」話題を掲載しています。皆さんからの情報もお待ちしております。

大学生と交流

～日本大学の学生と交流～

8月10日・11日、市内の農家の皆さんが東京都に行き、本市と交流を続けている日本大学の学生と交流を行いました。参加したのは、農作業体験受け入れや農家民泊を行っている方を始めとする農家10人、日本大学経済学部新海ゼミの学生10人で、同大の新海先生や吉村先生を中心に、2日間に渡り交流が進められました。アンテナショップや市場を見学した際には、参加した農家の方や学生が施設案内人に積極的に質問をするなど、熱心に話を聞いていました。



▲東京都大田市場を見学



▲ガンバロウ三唱

安全でおいしいしいたけ

～福島県原木椎茸生産者の会決起大会～

8月23日、東京電力福島第一原発事故に伴う被害による県原木椎茸生産者の会の決起大会が白沢公民館で開かれました。

原木しいたけの出荷制限が続く中(9月7日に原木しいたけ(施設)の出荷制限は解除されています)、県内各地域のしいたけ生産者の現状の報告のあと、損害賠償の早期完全実施や風評被害対策を国や東電に求める決議文を採択しました。

一緒に遊ぼう！

～工房ばぶ曳田さんからパズルのプレゼント～



▲工房ばぶ曳田さんを囲んで記念撮影

8月29日、東京都町田市で工房を営む曳田宏さんが、白沢保育所を訪れ木製の手作りパズル5個をプレゼントしました。曳田さんは、「福島の子どもたちを元気にしたい」と保育所の子どもたちとプレゼントしたパズルをしたたり、一緒に紙芝居や紙飛行機で遊びました。

子どもたちは、大喜びで元気な笑顔を見せていました。

震災後のストレスをどう乗り越えるか

～心とからだのケア研修教育講演会～

8月24日、本宮市と大玉村の保育士・教職員を対象とした教育講演会が、白沢公民館で行われました。これは、本宮方部特別支援教育推進協議会が主催し、子どもたちが東日本大震災で受けたトラウマやストレスをどのように取り除くことができるかを、兵庫教育大学発達心理臨床研修センターの富永良喜教授を講師に開催されたものです。参加した先生たちは熱心に聞き入っていました。

▼熱心に耳を傾ける先生たち



▲富永良喜先生



練習の成果を発表

～白沢中学校吹奏楽部メイプルコンサート～

白沢中学校吹奏楽部第8回メイプルコンサートが、8月28日白沢中学校体育館で行われました。

部員41人が、日ごろの練習の成果を披露しました。3月に卒業した先輩たちも参加しての演奏もあり活気あふれる演奏会となりました。



▲白沢中学校吹奏楽部の皆さん

世代を越えて

～郡山女子大学生と高齢者が交流～

郡山女子大学と本宮市の地域連携事業である、「高齢者いきいき交流事業」が8月20日と9月3日に、えぼかで行われました。岩根下町ふれあいサロン、8区ふれあいサロンの皆さんと学生が参加し、学生の皆さんの企画、進行により、体を動かしながら歌を歌ったり、みんなでフラダンスを踊るなど、楽しいひとときを過ごしました。昨年度から行われているこの事業は、高齢者の方々の心身の活性化と社会参加・介護や社会福祉を学ぶ学生のコミュニケーション力や福祉の心を育むことを目的に、2月まで月1回開催されます。



▲郡山女子大の皆さんとふれあいサロンの皆さん